

# 新・相模原市総合計画

## 施策の実施状況に関する建議書

平成23年11月

相模原市総合計画審議会



## はじめに

相模原市は、平成22年度の政令指定都市への移行に合わせて「新・相模原市総合計画」（以下「総合計画」という。）を策定した。

この総合計画の特徴は、施策の目的や目標を明確にするため、市として初めて、施策ごとに「めざす姿」を定め、その目標を具体的に数値化した「成果指標」を設定したことにある。

その狙いは、成果指標の達成度や各施策を構成する事務事業の取組結果を毎年度評価・検証することにより、限られた財源の中で、いかに市民生活の向上や都市の発展に対して貢献したのか、今後どう改善していくのか、ということを明らかにし、市民に対する説明責任を果たすと同時に、継続的に施策や事務事業の質の向上を図っていくとするものである。

しかし、一方では、施策の成果は、国・県や事業者、市民など、市以外の多様な主体の活動の結果として表れるものもあり、市が実施した事務事業の取組結果だけを対象に評価を行うことの困難性もある。

当審議会は、こうした課題も踏まえつつ、さまざまな分野における専門的な見地や市民の立場から、市が行った1次評価の妥当性の検証を含め、できるだけ客観的な評価を2次評価として行い、その結果をここに「施策の実施状況に関する建議書」としてまとめた。

2次評価を実施するに当たっては、評価の専門性、客観性、妥当性を高めるため2つの部会を設置し、施策を所管する部署を対象に、目標設定の考え方や事務事業の内容等についてヒアリングを行った後、全体会議で評価結果を確定した。

市がこの評価結果を真摯に受け止め、具体的な「改善」につなげることによって、施策の「めざす姿」とその成果を効率的・効果的に達成するとともに、市民にわかりやすく、市民のより一層篤い信頼を確保した市政運営の展開が図られるよう期待する。

平成23年11月

相模原市総合計画審議会  
会長 吉田 民雄

## 第1章 評価の実施方法について

評価の実施に当たっては、当審議会の意見も踏まえて市が作成した「相模原市総合計画進行管理実施方針」（別紙1）に基づき行った。実施方針の概要は次のとおりである。

### 「相模原市総合計画進行管理実施方針」の概要

#### 1 目的

この実施方針は、「新・相模原市総合計画」（以下「総合計画」という。）を効果的かつ効率的に推進するため、総合計画（基本計画）の成果目標の達成度を明らかにし、市民に公表することにより、継続的な改善活動と総合計画の円滑な推進に資することを目的とする。

#### 2 進行管理の対象

総合計画（基本計画）に掲げた施策及び当該施策を構成する事務事業とする。

#### 3 進行管理の方法

総合計画の進行管理は、これまで本市が行ってきた施策評価の仕組みをベースとして次のとおり実施する。

##### （1）進行管理（評価）の視点

###### ア 達成度

- ① 成果指標の目標値に対して、実績値の達成率がどうであったか。
- ② 施策を構成する事務事業の取組結果がどうであったか。また、施策の目標達成に貢献する事業として適正か。

###### イ 費用対効果

施策の目標達成のために事業費や人員に見合った効果が得られているか。

##### （2）進行管理（評価）の実施主体

ア 1次評価：当該施策を所管する各局・区長等が実施する。

イ 2次評価：2次評価は、1次評価の妥当性を検証するとともに、評価の精度を高めるため、総合計画審議会が実施する。

##### （3）進行管理（評価）の実施年度

進行管理（評価）は、原則として毎年度実施する。ただし、成果指標の結果測定が毎年度実施できない指標については、測定可能な年度のみ実施する。

##### （4）進行管理（評価）の時点

評価は、前年度末の時点の状況を基準とする。

#### 4 評価結果の公表

2次評価結果及び市の対応方針については、市ホームページへの掲載等により市民に公表する。

こうした仕組みにより評価を行ったが、具体的な評価基準については、次のとおりである。

## 1 評価の基準

### (1) 成果指標

成果指標の評価については、成果指標の年度別の目標値に対する実績値の達成率に応じて、A～Dまでの4つに区分している。

- A … 年度別目標を達成
- B … 年度別の目標の値を80%以上達成
- C … 年度別の目標の値を60%以上達成
- D … 年度別の目標の値が60%未満
- … 今年度は成果指標の測定ができないもの

### (2) 総合評価

総合評価は、成果指標の評価、施策を構成する事務事業の取組結果、施策推進のために要した経費などを総合的に評価し、A～Cの3つに区分している。

- A … 施策の目標達成に向けて十分に事業の効果が現れている
- B … 施策の目標達成に向けて一部の事業の取組に改善が必要
- C … 施策の目標達成に向けて事業の取組に大幅な改善が必要

当審議会が行った2次評価の結果及び意見については、次のとおりである。

1 評価結果

(1) 2次評価の視点

2次評価に当たっては、次の視点で評価を行った。

- 成果指標の実績に係る結果の分析が適切であるか
- 施策を構成する事務事業の方向性が適切であるか
- 施策を構成する事務事業の実績及び評価結果が適切であるか
- 施策を構成する事務事業の指標、目標が適切であるか
- 総合分析及び市の自己評価（1次評価）が適切であるか

(2) 評価結果及び評価コメント

ア 成果指標に関する評価

■ 成果指標の評価結果は、次のとおりである。

成果指標結果

評価	施策数	割合
A	48	52%
B	29	32%
C	2	2%
D	1	1%
—	12	13%
合計	92	100%

■ 「成果指標に関する評価」に係る主要な意見は、次の6点である。今後の成果指標の改善に反映されたい。

- ① 成果指標については、施策の「めざす姿」や「取り組みの方向」との関連において、その成果を市民に分かりやすく示すことのできるものとするべきであるが、変更を要するものも見受けられる。総合計画がスタートしたばかりであり、直ちに変更することは難しいと思うが、当面は、「施策を構成する主な事務事業」の指標や部門別計画で設定した指標により補完するなど工夫をされたい。
- ② 成果指標の目標値は、達成しやすい数値となっていると感じられる施策が見受けられたため、今後の達成率の推移を見た中で、適切な目標値への変更を検討されたい。
- ③ 成果指標に関する結果の分析において、その結果に至った要因についての分析が不足している。日常の業務を通じて得られる業務統計や新たな調

査を通じて得られる調査統計の動向に絶えず注意し、多角的な視点から、更に掘り下げた分析が求められる。

- ④ 国の統計結果などを用いた成果指標だけでなく、市民にわかりやすく成果を説明するためには、市の事業を実施した結果が施策の推進に反映される市独自の指標の設定を含めて、今後検討されたい。ただし、独自の指標を設ける場合は、その妥当性を十分に検討されたい。
- ⑤ 毎年度測定できない成果指標については、毎年度測定が可能な代替指標を用いることを検討されたい。
- ⑥ 成果指標の基準値については、平成20年度のもを原則としているが、調査時点の関係から、平成18年度や19年度の数値を用いているものもある。それに応じて、平成22年度の欄に記入されている目標値や実績値も実際には平成20年度や21年度の数値となっているため、一見しただけでは誤解を招くおそれもある。進行管理シートの表記方法も含め、市民にわかりやすいものとなるよう、工夫をされたい。

#### イ 総合評価に関する評価

- 総合評価に関する評価結果は、次のとおりである。個別の施策に関する意見は、「平成22年度2次評価結果について」（別紙2）のとおりである。

##### 総合評価

評価	1次評価		2次評価	
	施策数	割合	施策数	割合
A	23	46%	12	24%
B	27	54%	33	66%
C	0	0%	5	10%
合計	50	100%	50	100%

- また、2次評価において、1次評価から評価を変更している施策は、次のとおりである。それぞれの具体的な理由は、「平成22年度2次評価結果について」（別紙2）を参照いただきたい。

##### 2次評価において評価を変更した施策一覧

1次評価	2次評価	施策数	施策番号
A	B	11	施策17、施策18、施策24、 施策27、施策33、施策34、 施策39、施策44、施策48、 施策49、施策50
B	C	5	施策1、施策5、施策6、 施策7、施策32

■ 「総合評価に関する評価」に係る主要な意見は、次の9点である。今後の政策運営の改善に反映されたい。

- ① 「施策を構成する主な事務事業」について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をしていただきたい。
- ② 施策の目的を達成するために適切に事務事業が行われているかどうかについての分析・評価が十分にできるよう、施策の「取り組みの方向」の項目ごと、成果指標ごとに、対応する事務事業を必ず1本は記載することや、目標達成のために効果的な事務事業を採り上げることなど、「施策を構成する主な事務事業」の選択に留意すべきである。成果指標と「施策を構成する主な事務事業」を関連付けた分析をされたい。
- ③ 補助金の支出などにおいて、事業の実態と成果を市が把握していないケースも散見された。経費を投入して事業を行っているのであれば、市はその成果をしっかりと把握すべきである。
- ④ 継続的に行っている事業について、社会経済環境や市の関わり方が変化しているにもかかわらず、事業内容の見直しが行われていないことが見受けられることから、改善されたい。
- ⑤ 総合評価に当たっては、市のおかれている状況が市民にとってわかりやすいものとなるよう、他都市との比較やグラフを用いるなど工夫をされたい。
- ⑥ 事業の効果を積極的にアピールしようという熱意が感じられない。また、課題の認識も希薄である。
- ⑦ 成果指標の達成率が「A」だから総合評価も同様に「A」という安易なコメントが見受けられる。事務事業の取組結果も踏まえて評価すべきである。
- ⑧ 事務事業の実施方法について改善を求めている施策があるが、事業費を増額することなく現在実施している事業を改善した上で、事業の充実等を図ることを前提としている。改善に当たっては、この点に十分に留意されたい。
- ⑨ 職員個々人のレベルや組織レベルにおいても、PDCAサイクルを定着させる方向での一層の改善に取り組まれたい。

## 2 進行管理における課題について

市は、政令指定都市移行によって、移譲された新たな権限を活用して、市民がサービスの向上を実感できるよう施策の推進に取り組んでいると思うが、その結果を総合評価としての的確に分析し記載されたい。

また、縦割り行政から脱却し、福祉や教育、経済や観光など、部局内、部局間の組織をまたいだ横断的な連携を図っていくべきである。

このため、庁議における総合調整機能の活用や管理職員のマネジメント能力の向上など、市民の立場に立って総合的、体系的な事業実施を図っていただきたい。  
 (市民から見ればサービスの主体は、〇〇課ではなく、「市」である)

こうした取組みにより、個別分野だけでは解決できなかった課題の解決に向けた方向を見出すことができると考える。

最後に、市民に対する説明責任を的確に果たすとともに、PDCA サイクルを確立するため、2次評価の結果を活用し今後の施策の推進を図っていただきたい。

### 3 相模原市総合計画審議会の開催経過

月日		総合計画審議会	
		第1部会	第2部会
1月27日	新・相模原市総合計画と進行管理について		
3月1日	新・相模原市総合計画の進行管理の仕組みについて		
5月11日	新・相模原市総合計画の進行管理の仕組みについて		
8月24日	平成22年度1次評価結果について	第1回 (1次評価結果について)	第1回 (1次評価結果について)
9月6日		第2回 (施策1～施策9の評価)	
9月14日		第3回 (施策10～施策18の評価)	
9月20日			第2回 〔 施策24～施策34、 施策46の評価 〕
9月22日			第3回 (施策35～施策45の評価)
9月26日		第4回 〔 施策19～施策23、 施策47～施策50の評価 〕	
11月1日	平成22年度2次評価について		

※第1部会は、総合計画の基本目標1、2及び5（施策1～施策23及び施策47～施策50）に該当する施策の評価を、第2部会は、基本目標3及び4（施策24～施策46）の評価を行った。

●総合計画審議会委員一覧

	氏 名	所 属 等	部 会	備 考
1	加賀谷 育子	公募	第1部会	
2	金森 剛	相模女子大学人間社会学部 社会マネジメント学科准教授	第2部会	
3	神田 祐佳	公募	第1部会	
4	鈴木 敏彦	和泉短期大学児童福祉学科准教授	第1部会	
5	辻 琢也	一橋大学大学院法学研究科教授	第2部会	副会長
6	中村 香	玉川大学通信教育部教育学部教育学科准教授	第1部会	
7	藤川 まなみ	桜美林大学総合科学系准教授	第2部会	
8	守屋 浩之	公募	第2部会	
9	山家 昌則	公募	第2部会	
10	吉田 民雄	東海大学政治経済学部教授	第1部会	会 長

## 相模原市総合計画進行管理実施方針

### 1 目的

この実施方針は、「新・相模原市総合計画」（以下「総合計画」という。）を効果的かつ効率的に推進するため、総合計画（基本計画）の成果目標の達成度を明らかにし、市民に公表することにより、継続的な改善活動と総合計画の円滑な推進に資することを目的とする。

### 2 進行管理の対象

総合計画（基本計画）に掲げた施策及び当該施策を構成する事務事業とする。

なお、施策を構成する事務事業は、実施計画事業及び各年度に実施した施策目標に貢献度が高い事業とする。

ただし、施策を構成する事務事業のうち、法令等による義務的事業や単年度で終了する事業などは除く。

※施策目標に貢献度が高い事業：各局・区等が「局・区運営方針」で定めた事業のうち、実施計画事業以外で、施策目標を達成するために貢献度が高い事業。

### 3 進行管理の方法

総合計画の進行管理は、これまで本市が行ってきた施策評価の仕組みをベースとして次のとおり実施する。

#### （1）進行管理（評価）の視点

##### ア 達成度

- ① 成果指標の目標値に対して、実績値の達成率がどうであったか。
- ② 施策を構成する事務事業の取組結果がどうであったか。また、施策の目標達成に貢献する事業として適正か。

##### イ 費用対効果

施策の目標達成のために事業費や人員に見合った効果が得られているか。

#### （2）進行管理（評価）の実施主体

ア 1次評価：当該施策を所管する各局・区長等が実施する。

イ 2次評価：2次評価は、1次評価の妥当性を検証するとともに、評価の精度を高めるため、総合計画審議会が実施する。

### (3) 進行管理（評価）の実施年度

進行管理（評価）は、原則として毎年度実施する。ただし、成果指標の結果測定が毎年度実施できない指標については、測定可能な年度のみ実施する。

なお、成果指標を1つのみ設定している施策で、かつ、その指標が毎年度測定することが不可能な指標である場合には、主な事務事業の取組結果など、他の項目により評価を実施する。

### (4) 進行管理（評価）の時点

評価は、前年度末の時点の状況を基準とする。

### (5) 進行管理（評価）の手順

ア 施策を構成する事務事業について、事務事業の所管課長が施策目的に照らし、事業実績の把握及び評価を行う。

イ 各局・区長等は、各所管課長の評価結果を基に、総合的な見地から施策進行管理シートを作成し、政策会議に付議した上で、1次評価結果を確定させる。

ウ 各局・区等から提出された1次評価結果を1次評価結果報告書としてとりまとめ、総合計画審議会に提出する。

エ 総合計画審議会は、必要に応じて施策担当部局の職員からヒアリングを実施し、1次評価結果を基に専門的、かつ、客観的な視点から評価の妥当性等を検証し、2次評価結果報告書を取りまとめ、市長に建議する。

オ 市長は、2次評価結果報告書に付された意見等を次年度の施策立案や組織・定数管理、予算編成等に反映させるよう努めるとともに、対応方針を総合計画審議会に報告する。

## 4 評価結果の公表

2次評価結果及び市の対応方針については、市ホームページへの掲載等により市民に公表する。

## 新・相模原市総合計画 平成22年度2次評価結果について

## 基本目標 I 誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市

## 施策 1

施策名	地域福祉の推進
1次評価	B
2次評価	C
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進のため、事業の実施に当たり、社会福祉協議会や自治会、民生委員が市と連携して、施策を推進していることは評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉コミュニティ形成事業について、市は社会福祉協議会に事業費を助成し、地区ごとにボランティアセンターを設置することで事業を実施しているが、ボランティアセンターと社会福祉協議会それぞれの事業の実態と成果を把握していない。民間部門の社会福祉活動を有効に支援し、市民に的確にサービスが提供されることが重要であり、事業の実態と成果の把握に努めるとともに、成果につながる事業を実施されたい。</li> <li>・福祉コミュニティづくりに向けて、福祉分野以外の他分野との連携についての分析・検討をされたい。</li> <li>・バリアフリーについて、指標の設定がされていない。「取り組みの方向」にも位置付けられているため、総合分析だけではなく、相模大野駅北口広場エレベーター設置事業以外に実施している事業を「施策を構成する主な事務事業」欄へ記載されたい。</li> <li>・成果指標と施策を構成する主な事務事業を関連付けた分析をされたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

## 施策2

施策名	援護を必要とする人の生活安定と自立支援
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した生活へ向けて、中学生、高校生を対象に学習支援や居場所づくりなどを行っており、教育との連携を図っていることは評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高校生を対象にした学習支援のように、福祉と教育など、他分野との連携についても、積極的な取組をされたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

## 施策3

施策名	子どもを生きやすい環境の整備
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の「合計特殊出生率」の上下は外部要因が大きいことから、施策を構成する主な事務事業において、市の事業を実施したことによる結果が施策推進に反映される指標の設定を検討されたい。</li> <li>・事業の周知方法について、若い人にもより関心を持ってもらえるよう広報さがみはら以外の媒体などで積極的に広報されたい。</li> <li>・子どもを生む前の人たちに対する事業についても積極的な取組をされたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策4

施策名	子育て環境の充実
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率化に向け、放課後子ども教室におけるボランティアの活用や公立保育所の民営化にも取り組んできていることは評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の解消について、複数の事業を組み合わせることで解消策を実施しているため、待機児童の解消を目標に設定したほうが総合的な効果が高くなると考えられる。今後に向けて検討されたい。</li> <li>・保育需要とサービスの提供について、量的な需要に力点が置かれているが、認可・認可外保育所ともに、保育士の質の向上に向けた取組を積極的に実施されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策5

施策名	青少年の健全育成
1次評価	B
2次評価	C
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年学習センターにおいて、青少年の交流や体験の機会を提供することにより、多様な青少年活動を促進していることは評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の具体的な成果を上げるため、現在は街頭指導やパトロールを実施しているが、教育との連携の視点から、中学や高校、登校拒否や家出などの現状を前段で把握しておくことが具体的な施策を行うための基礎となる。このため、青少年行政の範囲内のみならず、教育との連携を図った施策を実施されたい。</li> <li>・青少年の健全育成のため、地域の青少年健全育成協議会を設置して事業を行っているが、若者の意見を取り入れた新しい取組を検討されたい。</li> <li>・施策のめざす姿と施策を構成する主な事務事業が整合していないため、整合を図った事業を実施されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

## 施策6

施策名	高齢者の社会参加の推進
1次評価	B
2次評価	C
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が増加する中で、シルバー人材センターの支援による就業機会の提供や地域活動を支援する事業の実施など様々な視点からの事業実施は評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブの会員数・クラブ数が減少している中で、団塊の世代の地域活動に向けたニーズの把握や今後の老人クラブの育成の方向性、考え方の整理などを行っていくべきである。</li> <li>・また、老人クラブは自治会に加入している人が会員となっている割合が高いが、高齢者が増加しても老人クラブの会員数は今後も減少傾向にあると危惧される。今後は、引越しなどにより新たに市民になった高齢者の地域におけるコミュニティ意識の醸成方策等について検討されたい。</li> <li>・上記2つの点から、老人クラブ活動の効果的な支援に向け、他のコミュニティ組織との連携も含めて事業の見直しをされたい。</li> <li>・高齢者の地域活動支援について、退職後、年金を受給できるまでの間は働きたいという高齢者のニーズがあるが、地域貢献活動やシルバー人材センター等の就業の仕組みを見直し、今後は、ニーズを把握した上で、高齢者の活力と意欲を生かした新しい産業振興を図る方向で取組を検討されたい。</li> <li>・シルバー人材センター支援事業について、助成金を支出したことによる成果が明確に把握されていない。また、利益を目的としないが、自主・自立が求められる団体であるため、独立採算の観点から、事業費の財源確保を行い、運営を行えるよう検討したうえで、助成金の適正化に努められたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策7

施策名	高齢者を支える地域ケア体制の推進
1次評価	B
2次評価	C
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の民間事業者は、地域ケアや在宅ケアの推進に当たり、相当の努力を行い、市に対し協力を行っており、そうした民間の社会福祉活動を有効に生かす施策推進の検討が求められる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を支える地域ケアの推進について、様々な事業を実施しているが、国の方針に基づいた事業の実施と同時に市の実情に合った地域ケアの推進を図られたい。</li> <li>・施策の評価等からは施設の充実の努力は見られるが、在宅ケアサービスの推進に向けた取組については十分な方向性が示されていない。また、家族介護者への支援などのニーズも高いと考える。これらに関する事業の実施内容を評価等に記載されたい。</li> <li>・市内の民間事業者は、地域ケアや在宅ケアなどにおいて相当の努力を行い、市に対し協力を行っているが、市は有効な支援をすべき立場にある。実態の把握を行い、その結果を施策の評価に記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 8

施 策 名	障害者の自立支援と社会参加
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の結果分析に当たっては、例えば、日中活動系事業所の利用者数の目標未達成の理由について、具体的な業務統計や調査統計を使い、分析した結果を記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 9

施 策 名	障害児の支援
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策を構成する主な事務事業の評価について、「目標どおり実施した」となっている点について、分析等を踏まえた具体的な理念を明確化して記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策10

施策名	健康づくりの推進
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策のめざす姿を達成するため、自治会や民生委員など、地域コミュニティとの連携を図った事業の実施を検討されたい。</li> <li>・健康増進のため、高校と連携を図り受動喫煙防止に関する教育を行っているが、対象年齢を下げ実施を行うよう検討されたい。</li> <li>・成果指標と施策を構成する主な事務事業を関連付けた分析をされたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策11

施策名	医療体制の充実
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の結果分析に当たっては、目標達成のために取り組んだ事務事業の結果と関連付けた分析を行った結果を記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 1 2

施 策 名	保健衛生体制の充実
1次評価	B
2次評価	B
意 見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 1 3

施 策 名	市民生活の安全・安心の確保
1次評価	B
2次評価	B
意 見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取り組みの方向」の4「基地周辺対策の推進」について、実施している事業（取組み）をシートへ記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策14

施策名	災害対策の推進
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施している事務事業の取組が、ハード面に偏った記載内容となっている。教育や福祉との連携などソフト面での取組についてもあわせて記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

#### 施策15

施策名	消防力の強化
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

施策16

施策名	学校教育の充実
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の充実に向け、教師力の向上も重要な要素であると考え。そのための市としての考え方や取組について記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

施策17

施策名	家庭や地域における教育環境の向上
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の結果分析に当たっては、目標達成のために取り組んだ事務事業の結果と関連付けた分析を行った結果を記載されたい。</li> <li>・指標33及び指標34については、小学校と中学校を分けて分析するべきと考える。早期に取組を実施し、分析されたい。</li> <li>・1次評価に当たっては、指標と事務事業の取組結果を総合分析し、評価を実施されたい。</li> <li>・学校と地域の協働推進事業について、協働推進コーディネーターを学校へ配置しているが、事業実施に当たり、コーディネーターの創意工夫を生かした取り組みを検討されたい。また、事業を実施した結果について、報告書の提出だけではなく、事業の実態を把握し、効果やそのあり方について分析をされたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策18

施策名	生涯学習の振興
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動について、市民のニーズに応えることは重要であるが、社会教育として考えた時にニーズだけではなくシーズについても重要視し、市として公民館で主催する事業の具体的な成果目標を掲げた上で、今後の事業を実施されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策19

施策名	生涯スポーツの振興
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント事業や施設整備事業の推進に取り組んでいるが、市民の自発性・自主性を基本とした生涯スポーツの振興に繋がるような、啓発事業や教育について検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策20

施策名	文化の振興
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化創造事業については、イベントガイドの発行で既存の文化の周知に終わるのではなく、将来の本市の文化を支える人材の育成を図るなど、市民の多彩な文化活動を促進する方向で、施策のあり方を検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策21

施策名	国際化の推進
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の子どもが増加に対応するために、学校教育や社会教育の分野との連携について、既に実施している事業を記載されたい。</li> <li>・国際化の推進のためには、外国企業の誘致など新たな取組が必要となる。経済部門との連携を図りながら、新たな施策の展開を検討するとともに、市において、国際化に係る事業の総合的な調整機能のあり方について検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

## 施策 2 2

施 策 名	人権尊重・男女共同参画の推進
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標と施策を構成する主な事務事業を関連付けた分析をされたい。</li> <li>・男女共同参画推進事業については、計画の策定だけに終わるのではなく、市が行っている施策が市民にわかるよう、具体的な事業等についても記載されたい。</li> <li>・福祉・教育との連携について、積極的に推進されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

## 施策 2 3

施 策 名	世界平和の尊重
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所管部署単独で事業を推進するのではなく、施策の目的を達成するために、関係部署との連携を図られたい。</li> <li>・1次評価に当たり、事業を実施した結果や成果について、市民にわかりやすい説明が行えるよう、総合的な分析を行い、記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

施策24

施策名	地球温暖化対策の推進
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> <li>・本来は、市民の意識としての節約努力によって、CO2排出量が減ったという関係を指標とすべきであるが、工業生産量や人口の増減によって排出量が大きく影響を受けるため、市民意識が高まっても排出量が減らないということも想定される。このため、この対策を市の施策とすることはよいが、評価のあり方は慎重に議論すべきである。</li> <li>・市民や事業者に対する啓発効果によって、意識が高まったということは、評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の直接の努力と市全体の排出量に強い因果関係が認められないため、市の努力を反映できる指標設定を行うとともに、事務事業の構成についても見直されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 25

施策名	環境を守る担い手の育成
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策を構成する事務事業を推進することにより、環境に対する市民の意識を高めていくという関係性は、妥当である。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来的には、活動する団体数や活動量などにより、正確に測定することができるような指標を設定していくべきである。</li> <li>・ 施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・ 部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 26

施策名	資源循環型社会の形成
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指標 48 の「市民 1 人 1 日あたりの家庭ごみ排出量」に掲げているように、原単位を目標として設定することにより、市の努力が適正に示されると考える。</li> <li>・ 指標 50 について、景気や人口の動向により、ごみの量が増減するため、市内の経済活動が活発になると、基本のごみの総排出量は減らないことも考えられるが、こうした状況にも対応できる指標を今後検討されたい。</li> <li>・ 施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・ 部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 27

施策名	廃棄物の適正処理の推進
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標 5 1 については、地価が高く、埋立地もない状況で、市内で発生する家庭ごみを市内で 100% 処分していることは評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標 5 2 については、市の不法投棄回収量は減少しており改善の事実はあるが、潜在的な不法投棄量の把握方法を、今後見直し、さらに検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策 28

施策名	水源環境の保全・再生
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チッソ、リンの湖への流入については、神奈川県（相模原市）側の対策も重要ではあるが、山梨県側の流入量の影響が非常に大きい。山梨県側における対策が今後の大きな課題であるため、広域連携に努力されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策 29

施策名	人と自然が共生する環境の形成
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景気の動向にかかわらず、緑地率の維持を行い、目標値の達成に向け努力されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策 30

施策名	生活環境の保全
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準は、生活環境保全全般についての指標であることから、土壌や騒音の指標の追加や、大気・水質の評価の分別など、指標の整理・追加が必要であると考えため、今後検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策3 1

施策名	快適な都市空間の創造
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の内容については、アウトカム指標というよりも、緑地を増やす市の努力を直接測ることができるものが望ましいため、今後検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策3 2

施策名	雇用対策と働きやすい環境の整備
1次評価	B
2次評価	C
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職紹介事業について、ハローワークの求職相談より、細かいキャリアカウンセリング等を行う就職支援センターの方が就職に結びついており、実際に効果が上がっているため、調書に記載されたい。</li> <li>・指標6 2について、有効求人倍率を目標とすることは、市が直接関わっていくことができるか否かにかかわらず、市民の関心も高い指標のため、指標としてはよいと考えるが、施策を推進する主な事務事業に掲げられている3事業では目標を達成することが困難であることから、目標達成に向け、国県と協力して努力をされたい。また、市の努力が反映できる指標を今後検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策 3 3

施 策 名	地域経済を支える産業基盤の確立
1次評価	A
2次評価	B
意 見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在進めている事業が成果を上げる途中段階にあり、現段階では目標を達成できていないが、目標達成に向けた考え方を持っていることは評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造品等出荷額を上げるため、市内の製造業活性化に向けた企業に対する支援の強化や、製造業だけではなく第3次産業も含めた活性化を図るのかを、一定の時期に効果の検証を行い、今後の事業に反映されたい。</li> <li>・ 施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・ 部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策 3 4

施 策 名	新産業の創出と中小企業の育成・支援
1次評価	A
2次評価	B
意 見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策を構成する主な事務事業の「産業支援機関と連携した中小企業の支援」と「中小企業融資制度」に関しては、政策的に市が支援する範囲について、検討されたい。</li> <li>・ 成果指標と施策を構成する主な事務事業を関連付けた分析をされたい。</li> <li>・ 指標 6 5 については目標値を大幅に上回っているが、平成 1 9 年度以降実績値が減少傾向にあること、指標 6 6 については経営安定企業が 9 割程度であるが、平成 2 1 年度実績値と比較して落ち込んでいるため、実績値の改善に向け、具体的な方策を検討されたい。</li> <li>・ 施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・ 部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策35

施策名	商業・サービス業の振興
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地のうち、橋本・相模大野は人の通行量が増加しており、さまざまな施策の効果として評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋本は新規店舗の開設により、地域振興の一方で、既存商店街が衰退しており、地域振興と既存商店街の兼ね合いが課題である。</li> <li>・ 相模大野以外の地域についても、特色づくりに努力されたい。</li> <li>・ 指標67については、毎年測定できる指標の設定を今後検討されたい。</li> <li>・ 施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・ 部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策36

施策名	都市農業の振興
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業における生産体制が追いついていない現状を鑑みると、大型農産物直売所の体制づくりができるのか疑問であり、長期的な生産体制の仕組みづくりを検討されたい。</li> <li>・ 施策の方向性がソフト面よりもハード面に比重があり、農産物直売所を整備し、そこを活用することによりプロモーションを行い、ブランドを定着させる努力やビジネスモデルを開発することについても検討されたい。</li> <li>・ 施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・ 部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策37

施策名	魅力ある観光の振興
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもてなしの心あふれる」観光人材育成事業は評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光で来て終わりではなく、市への移住等を含めた施策を検討されたい。</li> <li>・観光のみならず、農業や商業を含めた住民の地域ブランド創造に対するニーズ把握に努められたい。</li> <li>・都市近郊エリアの観光という要素を加えた地域づくりを検討されたい。</li> <li>・新自然体験活動指導者育成事業については、環境学習等の交流方法もあることから、環境教育に取り組むよう検討されたい。</li> <li>・観光振興と商業振興は他地域から人を呼び込む点では同様であり、一体のものとして取り組むよう検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> </ul>

## 基本目標Ⅳ 活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市

### 施策 38

施策名	計画的な土地利用の推進
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県の計画変更に伴い自然的土地利用を図るべき地域の面積が減少する場合もあるため、注視されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策 39

施策名	広域交流拠点都市にふさわしい都市拠点の形成
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標の達成に向け、新幹線の停車本数増加に伴い発展してきた新横浜駅を、一つの目指すべきモデルとした施策の推進が望まれる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅乗降客数増加のためには、オフィスの整備等、労働人口増加に向けた街づくりについて検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策40

施策名	新たな産業拠点の形成と地域拠点の活性化
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当麻地区拠点整備促進事業では、まちづくり会議等で説明会を開催しており、きめ細かな進め方は評価できる。また、行政提案型でなく住民提案型の事業であり、他からの視察が多くあることから、モデル事業として評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民との連携でインターチェンジ周辺の整備をするという、新しい取り組みを実施しており、総合評価に記載されたい。</li> <li>・指標75については、事業計画段階のため評価することができないため、今後は毎年測定できる指標を検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策41

施策名	広域的な交流を支える交通体系の確立
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業は予定通り進捗しており、評価できる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策を構成する主な事務事業の指標・目標、実績・評価の記載にあたり、特に国県道整備事業については、整備を完了した工区を記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策42

施策名	地域を支える公共交通の充実
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道整備事業について、計画に基づき予定通り実施されていることは評価できる。また、渋滞解消と交差点の改良への取組は評価できる。</li> <li>・施策の対象層が高齢者などの交通弱者が中心であり、満足度に直結するのであれば良いことである。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標78については、事業計画段階のため評価することができないため、今後は毎年測定できる指標を検討されたい。</li> <li>・乗り合いタクシーやコミュニティバス、コミュニティサイクルの利用促進に向けた検討をされたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 施策43

施策名	公共交通を中心とする交通体系の確立
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の利用は地球温暖化防止貢献の観点から評価できる。</li> <li>・相模原市は市街地に平地が多く自転車利用に良好な環境であり、自転車専用レーンや駐輪場を含めた自転車対策基本計画の策定に期待する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車専用レーンの整備は、市の特色を出せるツールとしての施策の推進が必要である。</li> <li>・予算の範囲内においてシティープロモーション的な特色ある取組を検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策 4 4

施策名	魅力ある景観の保全と創造
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市デザイン推進事業は、現状維持という姿勢ではなく、住民が誇れる街並みとするため積極的な事業展開を検討されたい。</li> <li>・市街地の景観形成についての指標である 8 1 の評価が B であり、都市デザイン推進事業に対しては積極的な取組が望まれる。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策 4 5

施策名	安全で快適な住環境の形成
1次評価	A
2次評価	A
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力について評価する。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の耐震促進に対する需要が多く、早急な取組が必要であり、市民が安全に暮らせる住環境の構築に取り組みたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策46

施策名	基地の早期返還の実現
1次評価	B
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の取組に大幅に改善する方法がないので、指標に照らし、一次評価のとおり B 評価とする。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の目標である「基地の返還」に対して、指標が「基地の存在が日常生活において支障を感じるかどうか」という基準となっており、目標達成の指標として適切かどうかは疑問があるため、今後検討されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

## 基本目標Ⅴ 市民とともに創る自立分権都市

### 施策４７

施策名	分権型のまちづくりの推進
１次評価	B
２次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政令指定都市移行初年度であるため具体的な評価は行うことができないが、今後、成果指標について、各事務事業の結果を着実に分析し、施策の目的を達成するために一層の推進を図られたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

### 施策４８

施策名	皆で担うまちづくりの推進
１次評価	A
２次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> <li>・地域活性化事業交付金については、継続することにより、地域の自治意識をできるだけ生かす一方で、地域の自主性を確保する姿勢が求められる。交付決定件数については、一定の評価ができる。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標と施策を構成する主な事務事業を関連付けた分析をされたい。</li> <li>・総合評価には、(仮称)市民協働推進条例制定について取り組んでいることを記載されたい。</li> <li>・指標８７及び指標８８については、単年度での評価が困難であることから、複数年度の結果をみて評価することが妥当と考える。</li> <li>・成果指標については、次回設定を行う際には、施策目標を達成するために効果のある指標を設定されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策49

施策名	行政サービス提供体制の充実
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の目標達成のために、今後、区役所の持つ適正な規模や権限のあり方について検討されたい。</li> <li>・サービスの充実を行う際には、費用対効果を分析した上で、適切な事業の推進を図られたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

#### 施策50

施策名	市民と行政のコミュニケーションの充実
1次評価	A
2次評価	B
意見	<p><b>【施策推進に対する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の改善努力については評価するが、なお一層の改善を求める。</li> </ul> <p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が市に対して意見を言える機会や手段については一定の確保がなされているが、市民からの意見の施策への反映方法について具体的に記載されたい。</li> <li>・施策を構成する主な事務事業について、市民にわかりやすい指標・目標の設定がされていない。資源投入した結果としての成果、社会的効果などの観点から目標設定をされたい。</li> <li>・部局内・部局間の縦割り行政から脱却し、市民の立場に立った総合調整と組織の横断的な連携強化に努められたい。</li> </ul>

以上